

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時 令和7年2月20日（木） 19時～20時

場 所 碧南市役所 談話室3

出席者	申込団体	男女共同参画推進委員会	人数	10人
	碧南市	小池市長、地域協働課長		

テーマ 碧南市における男女共同参画について

(概要) 次世代を担う子どもたちを中心に、性別や立場にかかわらず、それぞれが個性を生かして一人ひとりを大切にしながら支え合う社会づくりを目指していくために、碧南市及び本委員会でできることについて話し合う

要旨

主な意見は以下の通り

- ・西端小学校での出張授業で思ったが、今の子どもたちは男だから女だからという意識はなかった。自分の意志を大事にしようとまとめた。
- ・アンコンシャスバイアスについては、小学校のうちに学ぶべきで、各学校で出来ると良い。
- ・偏見と固定概念は違いがあり、固定概念は変えることができる。
- ・こどもは家庭内のことしかわからない。それが正しい、普通だと思ってしまう。家庭環境が大事。
- ・今、制服がブレザーになって男女問わず制服を選べるようになって良かった。
- ・近所にも、いつもスカートをはいた男性がいる。家族がそれを受け入れている。
- ・女の子がボーイッシュになる子が多いような気がする。
- ・60歳代以上の意識を変えるのは難しい。色々な年代の人が学べる場や機会が必要。
- ・昔、親と同居だと、男が家事をすると尻に敷かれていると言われた。
- ・今の若い夫婦は自分のやりたいことや意思をはっきり伝え、お互い主張し認め合っている。
- ・常識はどんどん変わる。アメリカでトランプ大統領が男と女の世界だと言っているが、それに対してNOと言ってくれる日本であってほしい
- ・色々な考え方を発信し、当たり前を変えていく。

(市長総括)

- ・小学校でのアンコンシャスバイアスの授業ができたことはすごく良い。核家族が増え、いろんな世代の人と触れ合う機会がないので、地域の人が学校現場に入ることは良いと思う。
- ・おかげ様、お互い様という気持ちを大事に。
- ・自己肯定感が低い人が多いので、それを変えていけるようにこの会で何かできたら。